

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

国語

科目 言語文化

教科: 国語

科目: 言語文化

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者: (1組: 米山・内山) (2組: 勝山・米山) (3組: 米山・内山) (4組: 勝山・内山)

使用教科書: (第一学習社 新編 言語文化)

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使うことができる。

科目 言語文化

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文、古文、漢文の学習を通じて、漢字、語句、文法や表現等の理解を深めるとともに、文脈の中で語感を磨き、語彙を豊かにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、具体的な活動を通して表現力や想像力を高め、自分の考えを広げて伝え合う能力や自分の考えを的確に表現する能力を育成する。また、意見交換を通じて多角的で客観的な思考能力を育成する。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		国語	書	読					
単元「小説を読む(二)」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深める方法を学ぶ。	教材…ほねとたね(川上弘美) ・文章の構成と段落分けの方法を理解し、実践する。 ・主人公の人物像および周囲の人物との関係を解釈する。 ・主人公の心理的な変化と成長を、的確に読み取る。 ・物語の構成をふまえ、情景描写と主人公の成長を読み取る。 ・作品の主題を的確に捉える。	○	○	○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を理解している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深める方法を学んでいる。	○	○	○	10
定期考査						○	○		1
単元「古文に親しむ」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に応じて調査する方法を学ぶ。	教材…なよ竹のかぐや姫(竹取物語) ・『竹取物語』の概要を理解する。 ・歴史的仮名遣いや古文を音読する際の留意点について理解する。 ・「なよ竹のかぐや姫」の内容や構成を的確に捉える。 ・登場人物のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容の解釈を深める。 ・『竹取物語』について知ったことを文章にまとめる。	○	○		【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・文語のきまりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を理解している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に応じて調査する方法を学んでいる。	○	○	○	6
単元「随筆を読む」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・文語のきまりを理解する。 ・歴史的な文体の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。	教材…枕草子「春は、あけぼの」「はしたなきもの」(清少納言) ・『枕草子』の概要を理解する。 ・「春は、あけぼの」の内容や構成などを捉えている。 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・『枕草子』の類集的章段には複数の型があることを理解する。 ・助詞、助動詞の意味など文語のきまりを理解する。 ・作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深める。	○	○		【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解している。 ・文語のきまりを理解している。 ・歴史的な文体の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学んでいる。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～4組

教科担当者：（1組：門脇卓也）（2組：門脇卓也）（3組：渡辺克彦）（4組：渡辺克彦）（組： ）（組： ）

使用教科書：（高等学校 公共 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】政治、経済、倫理などに関わる現代の諸課題について理解し、多面的・多角的に考察する。

【思考力、判断力、表現力等】諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を解決する態度を養い、自国を愛し各国民が協力し合う大切さについて自覚を深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題に対する理論や概念を多面的・多角的に考察し理解する。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を持たせる。	諸資料から事実を基に考察し、公正に判断する力や、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。広い視野に立ち、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者として必要な資質・能力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	大人ってどんな人？ 【知識及び技能】青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自己形成の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究する。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】自己形成の課題について考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	お互い理解し尊重するために 【知識・技能】伝統や文化、宗教などを背景にして現代の社会が成り立っていることを理解する。 【思考力、判断力、表現等】先哲の思想や伝統、文化、宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付く。 【学びに向かう力、人間性等】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究する。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】伝統や文化、宗教などを背景にして現代の社会が成り立っていることが理解できている。 【思考力、判断力、表現等】先哲の思想や伝統、文化、宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できている。	○	○	○	8
	誰もが生きやすい社会へ 【知識・理解】自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解する。 【思考力、判断力、表現等】自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立つて共感的に他者の思いを受け入れたりする。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとる。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 【思考力、判断力、表現等】自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立つて共感的に他者の思いを受け入れたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができる。	○	○	○	8
2 学 期	定期考査			○	○		1
	西洋近現代の思想 【知識・理解】近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解する。 【思考力、判断力、人間性】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察する。 【学びに向かう力、人間性】選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につける。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解できている。 【思考力、判断力、人間性】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 【学びに向かう力、人間性】選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	現代の諸課題と倫理 【知識・理解】地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、人間性】公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりを考察する。 【学びに向かう力、人間性】選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得、現代の諸課題を主体的に追究する。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考力、判断力、人間性】公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【学びに向かう力、人間性】選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得、現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

3 学 期	民主社会の基本原理 【知識・理解】人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、人間性】このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性】民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 【思考力、判断力、人間性】このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性】民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	○	○	○	5
	政治に参加する私たち 【知識・理解】地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解する。 【思考力、判断力、人間性】選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察する。 【学びに向かう力、人間性】模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つ。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 【思考力、判断力、人間性】選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 【学びに向かう力、人間性】模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。	○	○	○	5
	経済活動を行う私たち 【知識・理解】企業の役割や市場経済のメカニズム、各種経済統計や概念を理解する。 【思考力、判断力、人間性】企業倫理、市場メカニズム、経済のグローバル化等について考察する。 【学びに向かう力、人間性】消費者として合理的な行動がとれ、今後の日本の課題について主体的に考察している。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】企業の役割や市場経済のメカニズム、各種経済統計や概念が理解できている。 【思考力、判断力、人間性】企業倫理、市場メカニズム、経済のグローバル化等について考察できている。 【学びに向かう力、人間性】消費者として合理的な行動がとれ、今後の日本の課題について主体的に考察している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

数学

科目 数学A

教科：数学

科目：数学A

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～4組

教科担当者：（1組：田村・加藤）（2組：濱田・田村）（3組：濱田・田村）（4組：濱田・田村）

使用教科書：（実教出版 高校数学A）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識する。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率について理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身に付ける。	数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培う。	数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・集合の要素に関する基本的な関係や和の法則・積の法則について理解するとともに、具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 ・集合 ・要素の個数 ・樹形図 ・順列	【知識・技能】 ・集合の要素の個数について関係式を理解し、補集合の要素の個数や集合の要素の個数を求めることができる。 ・和の法則・積の法則を理解し、それぞれの法則を用いて場合の数を求めることができる。 ・順列の考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の要素の個数の関係を用いて、具体的な事象を考察できる。 ・順列の考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列の考え方を利用することに興味を持っている。 ・順列の考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。	○	○	○	10
	定期考査	中間考査		○	○		1
	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて簡単な確率を求められるようにする。	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 4. 順列 5. 組合せ 2節 確率 1. 事象と確率	【知識・技能】 ・順列や組合せの考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。 ・確率の基本的な法則を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・組合せの考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。 ・試行や事象の考えを用いて、確率の基本的な法則について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・組合せの考え方を利用することに興味を持っている。 ・試行や事象の考えを用いて、確率の基本的な法則について考察できる。 ・組合せや集合の考えを利用して、いろいろな事象の確率を考察できる。 ・組合せの考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。 ・確率について関心を持ち、具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査	期末考査		○	○		1
2 学 期	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	2節 確率 1. 事象と確率 2. いろいろな事象の確率 3. 独立な試行とその確率	【知識・技能】 ・確率の基本的な法則を理解できる。 ・組合せを利用して、確率を求めることができる。 ・排反事象や余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・独立な試行や反復試行の意味を理解し、確率を求めることができる。 【思考・判断】 ・組合せや集合の考えを利用して、いろいろな事象の確率を考察できる。 ・独立な試行の確率について、具体的な事象の確率を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・確率について関心を持ち、具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。 ・実験を通して頻度の割合を求めたりすることで、確率の意味を理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査	中間考査		○	○		1

	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	2節 確率 4. 反復試行とその確率 5. 条件つき確率 6. 期待値	【知識】・条件つき確率の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・期待値の意味を理解し、求めることができる。 【思考・判断】 ・反復試行の確率について、具体的な事象の確率を考察できる。 ・条件つき確率を利用して、具体的な事象の確率を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】・確率について関心を持ち、具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。 ・実験を通して頻度の割合を求めたりすることで、確率の意味を理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査	期末考査		○	○		1
3学期	・数の歴史について理解を深められるようにする。 ・2進法の仕組みを理解し、基数変換ができるようにする。 ・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて最大公約数を求められるようにする。	3章 数学と人間の活動 1節 数と人間 1. 数の歴史 2. 2進法とコンピュータ 3. 整数の性質とユークリッドの互除法	【知識】 ・数の歴史を理解し、古代の記数法を使って数を表すことができる。 ・10進法と2進法の仕組みについて理解し、2進法で表された数を10進法で表したり、10進法で表された数を2進法で表すことができる。 ・2進法で表された数どうしの和を求めることができる。 ・約数や倍数、公約数について理解し、求めることができる。 ・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、互除法を用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 【思考・判断】 ・古代の記数法について考察できる。 ・0のはたす役割の重要性を考察できる。 ・10進法と2進法の仕組みを考察できる。 ・長方形をしきつめる最大の正方形の1辺の長さ、最大公約数の関係を考察できる。 ・大きな整数の最大公約数を求めるときに、ユークリッドの互除法を用いると便利であることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の歴史や整数の性質に関心を持っている。 ・古代の計算道具について調べようとしている。 ・数の仕組みを利用した遊びに取り組んだり、新たな遊びを見つけたり、考えたりしようとしている。	○	○	○	15
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科

科目：科学と人間生活

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～4組

教科担当者：（1組：植松）（2組：植松）（3組：野田）（4組：野田）（組：）（組：）

使用教科書：（実教出版 科人702科学と人間生活）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的な見方や考えかたを育てる。

【思考力、判断力、表現力等】見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てる

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

科目 科学と人間生活

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解していると同時に、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。 自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・現代の科学技術文明が科学によって支えられ、発展してきたこと、科学技術と科学を切り離して考えることができないことを理解させる。	1章 科学と技術の発展 1. 科学と技術の始まり 3. 土―農業を通して考える―	・科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わり合って発展してきたか、意欲的に学習しようとする。 業における微生物の役割や、化学肥料の開発における尿素の合成など、科学と技術の発展に際し観察・実験の果たした役割についてまとめることができる。			○	7
	・身の回りの天然の物質や人工の物質がどのような成り立ちでできているか確認させる。 ・物質の最小単位である原子は約百種しかないが、組合せにより非常に多くの物質が生まれ、性質も決定されることに気付かせる。	2章 物質の科学 1節 材料とその再利用 1. 生活の中のさまざまな物質 2. 金属 3. プラスチック 4. セラミック	・私たちの生活に役立っている金属・プラスチック・セラミックスについて、どのような性質が製品として利用されているかを学び、さらにによりよい生活のために改良すべき点はないか意欲的に学習しようとする。 ・天然にある素材と人工的に作り出した素材が日常生活の中でどのように使われているかを考え、表現することができる。（発問評価）	○		○	10
	定期考査			○	○		1
	・食品や衣料を構成する物質の多くが高分子化合物であることに気づかせる。 糖類（炭水化物）の種類を説明し、糖類がどのようなものに含まれているか理解させる。 ・タンパク質を構成するアミノ酸の構造と特徴を理解させる。	2章 物質の科学 2節 食品と衣料 1. 衣食にかかわるさまざまな物質 2. 食品にかかわる物質 特集 食品表示と健康 3. 衣料にかかわる物質	・身近な食品中の成分や、衣料材料の性質や用途を追求し、生命の維持と快適な生活にこれらの食品や繊維がどのように利用されているか関心をもち、意欲的に学習しようとする。 ・食品中の成分が生命体においてどのような役割を果たしているか学習を通して総合的に判断し、表現することができる。	○		○	10
	・ヒトの生命現象と生活との関連を概観し、本節の学習の動機づけとする。 ・ヒトの眼の構造や、光刺激を受けてから脳に情報が伝わるまでの経路を理解させる。 ・図の読み取りを通してDNAの構造を理解させる。	3章 生命の科学 1節 ヒトの生命現象 1. 私たちの生活環境と眼 2. ヒトの生命活動と健康の維持 3. ヒトの生命現象とDNA	・微生物の存在や生態系における役割について関心をもち、意欲的に学習しようとする。 ・眼の構造と働きについて理解しており、観察・実験の結果や考察を自分の言葉で表現することができる。 ・DNAにおける塩基の相補性を理解するとともに、DNAの塩基配列によってつくられるたんぱく質のアミノ酸配列が決まることを理解している。	○		○	7
2 学 期	定期考査			○	○		1
	・光の直進性について、観察を通して学習させ、光を直線で表現できることを理解させる。 ・光の反射の法則を実験によって理解させるとともに、乱反射によって身の回りを見ることができていることを理解させる。	4章 光や熱の科学 2節 光の性質とその利用 1. 光	・自然界に見られる光の現象に関心をもち、意欲的に調べようとする。 ・身の回りに光の現象を見出し、波の性質を使いそれらを科学的に分析して、総合的に判断するとともに、それを表現することができる。 ・光が波であることを、回折や干渉など波の性質を持つことから理解し、身の回りの現象として見出せる。	○		○	9
	・可視光は電磁波の一種であり、また、電磁波は波長の違いによって様々な利用されていることを学習させる。 ・波の特性としての回折と干渉について、実験を通して学習させ、光が波であることを理解させる。 ・電磁波を使って様々なものを見ることができていることを理解させる。	4章 光や熱の科学 2節 光の性質とその利用 2. 電磁波の利用	・電磁波に関わる科学技術が生活とどのような関係を持つかに関心をもち、科学的な見方・考え方を身につけようとする。 ・電磁波が波長によって分類でき、光もその一つであること、電磁波が日常生活で利用されていることを理解できる。	○		○	10
	定期考査			○	○		1
	・太陽や星の天球上の日周運動や年周運動を、地球の自転運動と公転運動から理解させる。 ・太陽について、大きさや表面の様子を理解させるとともに、太陽の活動が地球の環境に様々な影響を及ぼしていることに気づかせる。	5章 宇宙や地球の科学 1節 太陽と地球 1. 太陽系の天体と人間生活	・太陽や月などの身近な天体と太陽系における地球について関心をもち、意欲的に調べようとする。 ・太陽が地球に及ぼす影響や、太陽系の広がりや構造について関心をもち、太陽系の広がりや構造について科学的な見方・考え方を身につけようとする。	○		○	9

	・太陽の高度による太陽の放射エネルギーの変化を観察・実験を通して理解させる。 ・太陽の放射エネルギーが地球の大気や海水など、人間生活に影響を及ぼしていることに触れる。 ・日本列島の気候的な特徴を概観し、私たちの生活との関わりを理解する。	5章 宇宙や地球の科学 1節 太陽と地球 2. 潮汐と人間生活 3. 太陽の放射エネルギー	・潮汐に関する写真やグラフから、潮汐の周期性などを読み取り、表現することができる。 ・地球が生命の存在できる環境であることを、太陽系の広がりや構造、太陽の放射エネルギーなどから総合的に判断して考察し、表現することができる。 ・地球が生命の存在できる環境であることを、総合的に判断して考察し、表現することができる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・身近な自然景観が風化作用、侵食作用、運搬作用・堆積作用などにより、長い時間の中で変化してきたことを理解させる。 ・地震や火山分布がプレートの境界面で起きていることを理解させる。 ・日本列島の地質的な特徴をプレートテクトニクス等で理解させる。 ・日本列島の地質的な特徴としての「島弧-海溝系」について学習し、現在の日本列島の特徴を概観させる。	5章 宇宙や地球の科学 2節 身近な自然景観と自然災害 1. 身近な景観のなりたち 2. 地球内部のエネルギー 3. 自然の恵みと自然災害	・自然景観の成因や自然災害の起きる状況を理解し、災害リスクを減らすための、科学的な見方・考え方を身につけようとする。 ・身近な自然景観の成因、日本列島の成り立ちを科学的に分析して、総合的に判断し、それを表現することができる。 ・身近な自然景観の成因、日本列島の成り立ちを科学的に分析して、総合的に判断し、それを表現することができる。	○	○	○	11
				○	○		1
							合計
							87

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育

科目: 保健

単位数: 1 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者: (1 組: 佐藤)

(2 組: 渡部)

(3 組: 渡部)

(4 組: 渡部)

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育

の目標:

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うようにする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A【生涯を通じる健康】 【知識及び技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康について、課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に対して、意欲的に取り組むことができる。	・オリエンテーション ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択	【知識・技能】 ライフステージと健康、思春期と健康、性意識と性行動の選択について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯の各段階における健康課題の変化について、思春期における心の健康課題について、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して、積極的、意欲的に取り組むことが出来る。	○	○	○	5
	定期考査	中間考査 無					
	A【生涯を通じる健康】 【知識及び技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康について、課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に対して、意欲的に取り組むことができる。	・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・働くことと健康	【知識・技能】 妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶、結婚生活と健康、中高年期と健康、働くことと健康について理解している。 【思考・判断・表現】 にんしん・出産の過程における健康課題、家族計画の意義と適切な避妊法などについて、習得した知識を基に課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を発見することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して、積極的、意欲的に取り組むことが出来る。	○	○	○	6
定期考査	期末考査 有						1
2 学期	B【健康を支える環境づくり】 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境・食品に関する原則や概念に着目して健康を高める方法を考え、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に対して、意欲的に取り組むことが出来る。	・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康	【知識・技能】 労働災害と健康、健康的な職業生活、大気汚染と健康、精神疾患への対処、現代の感染症とその予防、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて理解している。 【思考・判断・表現】 環境・食品と健康との関係を学ぶと同時に、社会全体の健康を高める取り組みや、国民1人ひとりが環境づくりに積極的に参画する意義や方法を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して、積極的、意欲的に取り組むことが出来る。	○	○	○	5
		・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用		○	○	○	6
	定期考査	期末考査 有					1
3 学期	B【健康を支える環境づくり】 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境・食品に関する原則や概念に着目して健康を高める方法を考え、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に対して、意欲的に取り組むことが出来る。	・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	【知識・技能】 医療サービスとその活用、医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解している。 【思考・判断・表現】 わが国における医療機関の仕組みや役割、医薬品の正しい使用法などを理解し、行政機関における社会対策などについて説明することが出来るようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して、積極的、意欲的に取り組むことが出来る。	○	○	○	5
	定期考査	期末考査 有					1
							合計 30

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（1組：阿部 佐藤 黒井）（2組：阿部 佐藤 黒井）（3組：阿部 黒井 渡部 佐藤）（4組：阿部 黒井 渡部 佐藤）

使用教科書：（

現代保健体育

）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と、運動を通して各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わ得るようにする。	多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるができるようになるために、「する、みる、支える、知る」の視点から自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的に解決したり、新たな課題の発見につなげたりすることができるようになる。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとする することができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 運動を行うための体力を高める方法を学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることを学習する。 【学びに向かう力、人間性等】	・オリエンテーション ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動	【知識・技能】 体力の構成要素として筋力・瞬発力・持久力・調整力・柔軟性があり、それらを理解している。 【思考・判断・表現】 仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	B 球技種目（3 転回授業） 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】	・ソフトボール ・テニス ・バドミントン	【知識・技能】 ・ソフトボール：基本技術 審判法 ・テニス：ストローク サーブ ・バドミントン：基本技術 審判法 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。	○	○	○	16
	定期考査	なし	なし				
	C 選択種目 【知識及び技能】 各種の基本の動作、技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする ことを学習する。	・武道（合気道） ・陸上競技 ・ダンス	【知識・技能】 ・武道：合気道の基本動作ができるようになる。 ・陸上競技：各種目の記録を向上する。 ・ダンス：基本的な動作ができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	7
	D 水泳 【知識及び技能】 各種の基本の動作を学び、泳げるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする ことを学習する。	・25m 泳法 ・背泳ぎ	【知識・技能】 ・背泳ぎができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	3
	定期考査	なし	なし				
2 学期	B 球技種目（3 転回授業） 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする ことを学習する。	・ソフトボール ・テニス ・バドミントン	【知識・技能】 ・ソフトボール：基本技術 審判法 ・テニス：ストローク サーブ ・バドミントン：基本技術 審判法 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	16
	C 選択種目 【知識及び技能】 各種の基本の動作、技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする ことを学習する。	・武道（合気道） ・陸上競技 ・ダンス	【知識・技能】 ・武道：合気道の基本動作ができるようになる。 ・陸上競技：各種目の記録を向上する。 ・ダンス：基本的な動作ができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	8

3 学 期	B 球技種目（3転回授業） 【知識及び技能】 各種目の基礎基本の技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。	・ソフトボール ・テニス ・バドミントン	【知識・技能】 ・ソフトボール：基本技能 審判法 ・テニス：ストローク サーブ ・バドミントン：基本技能 審判法 【思考・判断・表現】 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	14
	C持久走 【知識及び技能】 目標タイムを達成するペース配分を自己の体力に合わせて設定し、維持して走るようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることを学習する。	・女子1000m ・男子1500m ・女子2500m ・男子3300m	【知識・技能】 ・事故で設定した目標タイムを超えることが出来る。 【思考・判断・表現】 ・「自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	5
							合計
							70

都立農産 高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科

家庭 科目

教科：家庭

科目：0

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：1組～4組：成田・清水

使用教科書：（実教出版 家庭総合）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】

生活を主体的に営むために必要なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生活の中から問題点を見出して課題を設定し、解決する力を身につけるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組むようにする。

科目 0

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題点を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯を見通す 【知識及び技能】 自立した生活を営むために、生涯発達 の視点からライフステージの特徴と課題を 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 今までの自分とこれからの自分について 考える。 【学びに向かう力、人間性等】 生活課題に対して意思決定を行うことが できる。	・指導事項 これからの人生について考える ・教材 教科書、資料集、ワークシート、 スライド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課 題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・発表やワークシートにて自身の考えを表現するこ とができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向け て、青年期の自立について、課題解決に取り組み、 改善しようとしている。	○	○	○	6
	B 経済生活を営む 【知識及び技能】 自立した責任ある消費者として、よりよ い意思決定ができるよう、現代の消費生 活における意思決定の重要性と情報の活 用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 販売方法や支払方法が多様化する中で責 任ある消費行動がとれるよう、自ら考え る。 【学びに向かう力、人間性等】 消費者の権利と責任の変遷を踏まえて、 どうすれば消費者市民社会が実現できる か考え、実践しようとする。	・指導事項 消費行動について考える ・教材 教科書、資料集、ワークシート、 スライド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・消費生活の現状と課題について理解を深めてい る。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう に、消費者問題や消費者の自立と支援などについて 理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切 な意思決定に基づき行動できるよう、問題点を見出 して課題を設定し、解決策を構想している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向け て、生活における経済の計画について、課題の解決 について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査						
	C 持続可能な生活を営む 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、 経済的自立の重要性や障害を見通した働 き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする 力をつけるため、家計の構造やリスクを 踏まえた金融資産のマネジメントにつ いて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能なライフスタイルの実現に向け て、身近な生活と環境との関わりにつ いて工夫することができる。	・指導事項 経済的な自立について考える ・教材 教科書、資料集、ワークシート、 スライド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画に ついて理解を深めている。 ・生活と環境との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の 重要性について、ライフステージごとの課題や社会 保障制度などと関連付けて問題を見出し、課題設定 をし、解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向け て生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に 取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社 会に参画しようとするともに、生活文化を継承 し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るため に実践しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 衣生活をつくる 【知識及び技能】 健康・快適・安全な生活を送るために被 服に施されている工夫について理解する ことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に衣生活を営むことができるよう 目的や個性に応じた健康で快適、機能的 な着装について課題を設定し、解決する ことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活の科学と文化について、課題の解 決に主体的に取り組んだり、振り返って 改善したりして地域社会に参画しようと するともに生活文化を継承し、自分や 家庭、地域の生活の充実向上を図るため に実践しようすることができる。	・指導事項 衣生活について学ぶ ・教材 教科書、資料集、ワークシート、 スライド、エコバック制作キッ ト、裁縫道具 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関りに ついて理解を深めている。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活 の計画・管理に必要な情報の収集・整理できる。 ・衣生活の自立に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個 性に応じた健康で快適、機能的な着装について課題 を設定し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々とよりよい社会の構築に向けて、衣生活の 科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組 んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画 しようとするともに生活文化を継承し、自分や家 庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しよう としている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

[illegible]

科目 英語コミュニケーションⅡ

單位數： 3 單位

使用教科書：(VISTA English Communication II 三省堂

の目標：

- 【思考力、判断力、表現力等】・場面や状況などに応じて、英語で情報や話し手や書き手の意図を的確に理解したり、活用して表現したり伝えあったりできる力を養う。

- 【学びに向かう力、人間性等】・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

合計	79
----	----

週ごとの指導計画(単元指導計画) 様式例

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 農業 科目 課題研究
教科: 農業 科目: 課題研究 単位数: 1 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 2組
教科担当者: (1組: 高橋) (2組: 山下) (組:) (組:) (組:) (組:)
使用教科書: ()
使用教材: (「日本農業技術検定3級テキスト」(全国農業高等学校長協会)※1学期のみ) ()

単元の目標:
【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
単元名: ()

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
農業の基本的な知識を身につける。 それぞれの研究の目的と意義、成果を理解させる。	適切な方法でデータを処理できるようにする。 研究に必要な成果を発表できるようにする。	農業に関する課題を設定し、課題に対し積極的に取り組めるようにする。

実施予定: 4月3週 ~ 6月4週

	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法
第1時	日本農業技術検定3級対策 【知識及び技能】 ・農業の基本的な用語を理解する・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各作物の栽培管理に必要な思考・判断ができています。・ワークシートがまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な農業と環境に興味関心を深める。	・指導事項 日本農業技術検定3級対策 ・教材 日本農業技術検定3級テキスト、日本農業技術検定過去問題集 ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 農業の基本的な用語を理解している。植物、資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 各作物の栽培管理方法を理解している。ワークシートをまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業や環境を学ぶことに関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身につけている。
第2時			○	○	○	
第3時			○	○	○	
第4時			○	○	○	
第5時			○	○	○	
第6時			○	○	○	
第7時			○	○	○	

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

農業

科目 総合実習

教科: 農業

科目:

総合実習

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 2 組

教科担当者: (片岡・山下・増田)

使用教科書: (実教出版「果樹」(果樹分野のみ))

教科 農業

の目標:

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各分野の実習に使用する道具や資材などの使用方法を習得する。 植物の栽培管理作業や造園に関する基礎的な知識と技術を身に付ける。	植物の栽培管理に必要な思考・判断力を身に付ける。	植物の栽培管理や生産性の向上を図る能力と態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	草花の栽培と管理 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できる。 ・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・栽培管理に必要な思考・判断ができて いる。 ・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して草花に興味関心を深め る。	・指導事項 草花の栽培と管理 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 草花を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び 探求しようとする意欲と態度を身に付けてい る。	○	○	○	12
	果樹の栽培と管理 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用でき る。 ・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・栽培管理に必要な思考・判断ができて いる。 ・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して果樹に興味関心を深め る。	・指導事項 果樹の栽培と管理 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 果樹を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び 探求しようとする意欲と態度を身に付けてい る。	○	○	○	13
	造園の基本的技術 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用でき る。 ・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・造園施工に必要な思考・判断ができて いる。 ・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園施工に興味関心を深 める。	・指導事項 造園の基本道具 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 造園施工に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園施工を学ぶことに興味を持ち、主体的に 学び探求しようとする意欲と態度を身に付けて いる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	草花の栽培と管理 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用でき る。 ・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・栽培管理に必要な思考・判断ができて いる。 ・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して草花に興味関心を深め る。	・指導事項 草花の栽培と管理 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 草花を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び 探求しようとする意欲と態度を身に付けてい る。	○	○	○	11
	果樹の栽培と管理 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用でき る。 ・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・栽培管理に必要な思考・判断ができて いる。 ・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して果樹に興味関心を深め る。	・指導事項 果樹の栽培と管理 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 果樹を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び 探求しようとする意欲と態度を身に付けてい る。	○	○	○	11
	造園の基本的技術 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用でき る。 ・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・造園施工に必要な思考・判断ができて いる。 ・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園施工に興味関心を深 める。	・指導事項 レベル測量 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 造園施工に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園施工を学ぶことに興味を持ち、主体的に 学び探求しようとする意欲と態度を身に付けて いる。	○	○	○	10

	定期考査			○	○		1
3 学 期	草花の栽培と管理 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できる。 ・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・栽培管理に必要な思考・判断ができて いる。・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して草花に興味関心を深め る。	・指導事項 草花の栽培と管理 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 草花を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び 探求しようとする意欲と態度を身につけてい る。	○	○	○	8
	果樹の栽培と管理 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用でき る。・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・栽培管理に必要な思考・判断ができて いる。・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して果樹に興味関心を深め る。	・指導事項 果樹の栽培と管理 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 果樹を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び 探求しようとする意欲と態度を身につけてい る。	○	○	○	7
	造園の基本的技術 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用でき る。・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・造園施工に必要な思考・判断ができて いる。・レポートに実習内容がまとめら れている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園施工に興味関心を深 める。	・指導事項 造園製図の基礎 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 道具や資材などを適切に使用できる。植物、 資材などの名称を判断できる。 【思考・判断・表現】 造園施工に必要な資材などを判別し、使用で きる。レポートに実習内容をまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園施工を学ぶことに興味を持ち、主体的に 学び探求しようとする意欲と態度を身につけて いる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	1	合計
	定期考査			○	○	1	95

週ごとの指導計画(単元指導計画) 様式例

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 農業 科目 野菜

教科: 農業

科目: 野菜

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組 ~ 2組

教科担当者: (1組: 高橋) (2組: 高橋) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (「野菜」(実教出版))

使用教材: ()

単元の目標:

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

単元名: (果実を利用する野菜の栽培)

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	野菜に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	野菜の生産と経営について品質と生産性の向上を図る能力と態度を身に付けている。

実施予定: 4月3週 ~ 6月2週

	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法
第1時	ウリ科・マメ科・ナス科の栽培 キュウリ・エダマメ・ピーマン 【知識及び技能】 育苗を正しく行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 温床栽培の目的、理由を考察できる。	・指導事項 栽培管理、繁殖と育苗 ・教材 教科書、ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 栽培管理、鉢上げ、栽培上の特性を理解している。 【思考・判断・表現】 育苗を行う目的、理由を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 野菜を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。
第2時	【学びに向かう力、人間性等】 野菜栽培に興味関心を深める。	・指導事項 支柱とネットの利用 ・教材 教科書、ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 仕立ての種類、支柱の組み方を理解している。 【思考・判断・表現】 支柱組の制作、利用目的を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 野菜利用に関心を持ち主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。
第3時	支柱の組み上げ方を正しく行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 誘引・摘芯について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 販売目的の栽培への興味関心を高める。	・指導事項 科名、栽培上の特性、経営上の特性 栽培管理、病害虫防除 ・教材 教科書、ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 ピーマンの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ピーマンの特性、利用目的を自ら考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ピーマン生産について興味を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。
第4時	ピーマン 【知識及び技能】 ピーマンについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ピーマンの仕立て方の特性について考察できる。		○	○	○	
第5時	一番花と分岐点について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ピーマンの生産について興味関心を高める。		○	○	○	
第6時			○	○	○	
第7時			○	○	○	

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 農業 科目 植物バイオテクノロジー
教科： 農業 科目： 植物バイオテクノロジー 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 2 組
教科担当者：（1 組奇数：戸代谷）（1 組偶数：岡田）（2 組奇数：戸代谷）（2 組偶数：八木）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 植物バイオテクノロジー ）

教科 農業 の目標：
【知識及び技術】農業に関する知識と技術を習得させる
【思考力、判断力、表現力等】農業の特性とその特質を理解させる。
【学びに向かう力、人間性等】農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

科目 植物バイオテクノロジー の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得させる	植物体の特性とバイオテクノロジーの特質を理解させる。	植物バイオテクノロジーの学習を通して、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A バイオテクノロジーの意義 【知識及び技術】 基礎的な専門用語を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 適切な専門用語を用いてレポートが作成できる 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習内容を振り返ることができる	・指導事項 植物の繁殖などの機能やバイオテクノロジーの技術体系に関する学習 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 専門用語を理解している 【思考・判断・表現】 専門用語を適切に表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習内容と関連付けて学ぶ姿勢が見られる	○	○	○	6
	B 培地の組成と調整 【知識及び技術】 培地について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 培地の作成に必要な実験器具を揃えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 安全に留意しながら実験を行うことができる	・指導事項 培地（MSやH）の作成、実験器具、薬品の計量と扱い方 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 培地の組成と作成方法を理解している 【思考・判断・表現】 実験器具や薬品を適切に扱うことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 実験内容をレポートに適切にまとめることができる	○	○	○	4
	定期考査						
	C 無菌操作の基本 ① 【知識及び技術】 施設、設備について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 無菌操作に必要な施設、設備を適切に選択、使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーの基礎的な実験について興味を持っている	・指導事項 シランの無菌播種、観察 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 施設、設備の名称と役割を理解し、安全に使用することができる 【思考・判断・表現】 器具の殺菌など無菌的条件の設定、無菌培養の基本操作及び機器と薬品を取り扱える 【主体的に学習に取り組む態度】 培養の過程における無菌状態の確保の必要性が把握できる	○	○	○	6
	D 産業社会とバイオテクノロジー 【知識及び技術】 具体的な事例を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 バイオテクノロジーの利用と実社会をつなげることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぼうとしている姿勢が見られる	・指導事項 ウイルスフリー化、大量増殖 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 日本における植物バイオテクノロジーのおもな成果を理解している 【思考・判断・表現】 バイオテクノロジーの活用実態について考えまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 バイオテクノロジーの現状に関する課題等を考察しようとする意欲が見られる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学期	E 無菌操作の基本 ② 【知識及び技術】 施設、設備について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 無菌操作に必要な施設、設備を適切に選択、使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーの基礎的な実験について興味を持っている	・指導事項 ファレノプシスの無菌播種、ドラゴンフルーツの無菌播種、観察 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 施設、設備の名称と役割を理解し、安全に使用することができる 【思考・判断・表現】 器具の殺菌など無菌的条件の設定、無菌培養の基本操作及び機器と薬品を取り扱える 【主体的に学習に取り組む態度】 培養の過程における無菌状態の確保の必要性が把握できる	○	○	○	8
	F 培地の組成と調整 【知識及び技術】 植物ホルモンについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 培地の作成に必要な植物ホルモンを選択することができる 【学びに向かう力、人間性等】 安全に留意しながら実験を行うことができる	・指導事項 培地（MSやH）の作成、実験器具、薬品の計量と扱い方、植物ホルモン ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 培地の作成に必要な植物ホルモンを理解している 【思考・判断・表現】 植物ホルモンを適切に選択できる 【主体的に学習に取り組む態度】 実験内容をレポートに適切にまとめることができる	○	○	○	6
	定期考査						1

3 学 期	G 無菌操作の基本 ③ 【知識及び技術】 施設、設備について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 無菌操作に必要な施設、設備を適切に選択、使用することができる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーの基礎的実験について興味を持っている	・指導事項 コギクの花弁培養、観察 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 施設、設備の名称と役割を理解し、安全に使用することができる 【思考・判断・表現】 器具の殺菌など無菌的条件の設定、無菌培養の基本操作及び機器と薬品を取り扱える 【主体的に学習に取り組む態度】 培養の過程における無菌状態の確保の必要性が把握できる	○	○	○	8
	H 植物の増殖能力の利用 【知識及び技術】 植物の増殖能力の利用を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 植物の増殖能力の利用と実社会をつなげることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぼうとしている姿勢が見られる	・指導事項 植物細胞の分化全能性、大量増殖、組織培養及び培養植物体の順化と育成 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 植物の増殖能力を理解し、分化全能性を説明することができる 【思考・判断・表現】 培養植物体の順化と育成を見極めることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の増殖能力の利用に関する課題等を発見しようとする態度が見られる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	I 茎頂培養など組織培養の種類 【知識及び技術】 組織培養の種類を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 バイオテクノロジーの実用化への課題をみつけることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぼうとしている姿勢が見られる	・指導事項 実体顕微鏡の使い方、プロジェクト学習の進め方、茎頂など植物の組織と器官の構造と機能、ウイルス ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 実体顕微鏡を使い茎頂など植物の組織・器官の構造と機能を観察できる 【思考・判断・表現】 茎頂など植物の組織と器官を判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 バイオテクノロジーの実用化を当事者意識をもって理解しようとしている	○	○	○	9
	J 植物バイオテクノロジーの展望 【知識及び技術】 具体的な事例を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 バイオテクノロジーの展望と実社会をつなげることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぼうとしている姿勢が見られる	・指導事項 産業社会とバイオテクノロジーの動向 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 植物バイオテクノロジーの展望を理解し、説明することができる 【思考・判断・表現】 バイオテクノロジーの展望について考えまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 植物バイオテクノロジーの展望について自ら学ぼうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 農業 科目 園芸デザイン

教科: 農業

科目: 園芸デザイン

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 2 組

教科担当者: (1組: 天野・川村【特別専門講師】・片山)

(2組: 天野・川村【特別専門講師】・片山)

使用教科書: ()

教科 農業

の目標:

【知識及び技術】農業に関する知識と技術を習得させる

【思考力、判断力、表現力等】農業の特性とその特質を理解させる。

【学びに向かう力、人間性等】農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

科目 園芸デザイン

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
園芸デザインの知識と技術を習得させる	園芸デザインの特質を理解させる。	園芸デザインの学習を通して、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 園芸デザインの意義① 【知識及び技術】 基礎的な専門用語を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 適切な専門用語を用いてレポートが作成できる 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習内容を振り返ることができる	・指導事項 園芸デザインの技術体系に関する学習 ・教材 教科書(草花)、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 専門用語を理解している 【思考・判断・表現】 専門用語を適切に表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習内容と関連付けて学ぶ姿勢が見られる	○	○	○	6
	B 鉢花の栽培 シクラメン(プラグ苗) 【知識及び技能】 栽培を正しく行うことができる 【思考力、判断力、表現力等】 栽培の目的、理由を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 草花に興味関心を深める	・指導事項 栽培管理、繁殖と育苗 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 栽培管理、鉢上げ、栽培上の特性を理解している 【思考・判断・表現】 鉢花栽培を行う目的、理由を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 草花を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている	○	○	○	4
	C 草花の利用 花壇種類、利用目的、花壇制作 【知識及び技能】 花壇のデザインができる 【思考力、判断力、表現力等】 花壇と草花の利用を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 花壇制作、草花利用の興味関心を高める	・指導事項 生活と草花の利用、花壇デザイン ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 花壇の種類、制作方法を理解している 【思考・判断・表現】 花壇の制作、利用目的を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 花壇制作、草花利用に関心を持ち主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている	○	○	○	4
	D フラワーデザイン① 【知識及び技術】 具体的なデザインを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 作品の利用と実社会をつなげることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぼうとしている姿勢が見られる	・指導事項 一輪のラッピング、コサージュ、スワッグ、ラウンドアレンジメント ・教材 プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎知識と技術を理解している 【思考・判断・表現】 フラワーデザインの活用実態について考えまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 良い作品を制作する意欲と態度が見られる	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	E 園芸デザインの意義② 【知識及び技術】 基礎的な専門用語を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 適切な専門用語を用いてレポートが作成できる 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習内容を振り返ることができる	・指導事項 園芸デザインの技術体系に関する学習 ・教材 教科書(草花)、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 専門用語を理解している 【思考・判断・表現】 専門用語を適切に表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習内容と関連付けて学ぶ姿勢が見られる	○	○	○	8
	F 切り花の栽培(播種、定植、鉢上げ)ストック、キンギョソウ 【知識及び技能】 切り花栽培を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 切り花の特徴を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 切り花生産について興味関心を高める	・指導事項 切り花の品質管理、種類の特性 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 切り花栽培の特徴を理解している 【思考・判断・表現】 切り花の特徴、生産方法を考察でき。 【主体的に学習に取り組む態度】 切り花の栽培について関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	G 鉢花の栽培 カーネーション（ロイヤルティ） 【知識及び技能】 栽培を正しく行うことができる 【思考力、判断力、表現力等】 栽培の目的、理由を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 草花に興味関心を深める	・指導事項 栽培管理、繁殖と育苗 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 栽培管理、鉢上げ、栽培上の特性を理解している 【思考・判断・表現】 鉢花栽培を行う目的、理由を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 草花を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている	○	○	○	8
	H フラワーデザイン② 【知識及び技術】 具体的なデザインを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 作品の利用と実社会をつなげることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぼうとしている姿勢が見られる	・指導事項 押し花のハガキ制作、スワッグ、プリザーブドフラワー、季節を感じさせるアレンジメント ・教材 プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎的知識と技術を理解している 【思考・判断・表現】 フラワーデザインの活用実態について考えまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 良い作品を制作する意欲と態度が見られる	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	I 鉢花の活用 カーネーション（ロイヤルティ） 【知識及び技能】 鉢花を正しく扱うことができる 【思考力、判断力、表現力等】 活用の目的、理由を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 草花の利用に興味関心を深める	・指導事項 寄せ植え作成 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 鉢花の特性を理解し活用できる 【思考・判断・表現】 鉢花活用の目的と理由を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 草花を活用することに関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている	○	○	○	8
	J フラワーデザイン③ 【知識及び技術】 具体的なデザインを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 作品の利用と実社会をつなげることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぼうとしている姿勢が見られる	指導事項 式典花、季節を感じさせるアレンジメント ・教材 プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎的知識と技術を理解している 【思考・判断・表現】 フラワーデザインの活用実態について考えまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 良い作品を制作する意欲と態度が見られる	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年） 教科

農業

科目 総合実習

教科：農業

科目：総合実習

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 3組～4組

教科担当者：中島未香 佐藤桃子 工藤大志 秋永美和子 内藤和美

使用教科書：自校作成テキスト

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】食品に関する基礎・基本を身に付け、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目

総合実習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品製造、食品分析に関する実習内容を理解し、必要な知識と技能を身に付けている。	食品製造、食品分析について科学的に理解、判断し、結果をレポートに適切に表現できている。	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション 3分野をローテーションで学習する。 醸造：手前みその製造 畜産加工：バター、ヨーグルトの製造 基礎実験：炭水化物の定性、実験室の使い方、滅菌方法と身近な衛生試験	食品製造実習における衛生指導および製造理論 実験器具の扱い方、実験の安全	【知識・技能】 生產品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを見て適切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいるか。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2 学期	3分野をローテーションで学習する。 醸造：手前みその製品化、味噌プラント 畜産加工：人工ケーシングソーセージの製造、豚肉の加工Ⅰ、Ⅱ 基礎実験：微生物の観察・顕微鏡操作、微生物の培養・酵母の分離Ⅰ、Ⅱ	食品製造実習における衛生指導および製造理論 実験器具の扱い方、実験の安全	【知識・技能】 生產品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを見て適切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいるか。	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1
3 学期	3分野をローテーションで学習する。 醸造：味噌プラント 畜産加工：豚肉の加工Ⅰ、Ⅱ 基礎実験：微生物の培養・酵母の分離Ⅰ、Ⅱ	食品製造実習における衛生指導および製造理論 実験器具の扱い方、実験の安全	【知識・技能】 生產品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを見て適切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいるか。	○	○	○	15

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 農業 科目 食品製造

教科：農業

科目：食品製造

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 3組～4組

教科担当者：（3組：佐藤桃子）（4組：佐藤桃子）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（食品製造（実教出版））

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食品製造

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品製造について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、寒冷産業や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第7章 畜産物の加工 1 肉類の加工 2 牛乳の加工 3 鶏卵の加工 【知識及び技能】 畜産物の加工特性と加工品との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産物の種類に応じた原料の選び方、処理方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 畜産物の加工に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	・指導事項 肉の成分と加工特性 豚肉の加工 鶏肉の加工 牛乳の成分と加工特性 牛乳 発酵乳・乳酸飲料 チーズ アイスクリーム クリーム・バター・練乳 鶏卵の成分と加工特性 鶏卵の加工品 マヨネーズ ・教材 教科書、新食品成分表	【知識・技能】 原材料としての畜産物の特徴、及び畜産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、畜産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 畜産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の畜産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原材料を畜産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
2 学期	第8章 発酵食品の製造 1 発酵食品の特徴と種類 2 みそ・しょうゆの製造 3 酒類の製造 【知識及び技能】 発酵食品の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 発酵食品における微生物の種類とその働きを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 発酵食品の製造に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	・指導事項 発酵食品とは 発酵食品と微生物 みそ・しょうゆ製造の基礎 麹・みそ・しょうゆ 酒とは 酒類製造の基礎 ワイン ビール ・教材 教科書、新食品成分表	【知識・技能】 発酵食品がそれぞれの国や地域で受け継がれてきた伝統食品であり、その製造方法に微生物の働きが欠かせないことを知識として習得し、現在でも職人的手法で製造されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 発酵食品の製造工程における微生物の作用により生じた成分の変化が、食品の風味を増したり、栄養面での食品機能の強化につながっていること化学的に捉え、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発酵食品の製造に関心を持ち、日本古来の発酵食品や地域に伝わる発酵食品の製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	9
	第6章 農産物の加工 2 豆類の加工 3 いも類の加工 4 野菜類の加工 5 果実類の加工 【知識及び技能】 農産物の種類と加工品の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 農産物の加工のしくみを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 農産物の加工に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	・指導事項 豆類の特徴とその加工品 大豆の加工 いも類の特徴とその加工品 野菜類の特徴とその加工品 果実の特徴とその加工品 ジャム類 果実飲料 シラップ漬け 乾燥果実 ・教材 教科書、新食品成分表	【知識・技能】 原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学期	第9章 食品製造の実践と企業化 1 食品製造における機械と装置の利用 2 品質管理 3 作業体系 4 食品製造の実践 【知識及び技能】 食品製造に使われる機会の用途や特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い作業方法を目指して自ら	・指導事項 加熱装置とその利用 加熱殺菌と冷却 冷却装置とその利用 かくはん混合 次世代の食品工場 品質管理 作業体系の改善 食品企業の経営 新製品開発 生産性向上 高校生による実践例	【知識・技能】 食品の製造や保存に使われる機械の用途や特徴を理解している。 加工食品を衛生的かつ効率よく安定して製造するための検証・確立方法を理解している。 【思考・判断・表現】 食品の製造や保存に使われる機械を駆使し、衛生管理及び品質の安定した加工食品を提供するために作業体系を考案するとともに、作業チームとしてその内容を徹底するためにコミュニケーションを図りなが	○	○	○	11

期	の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品製造に関する機械や作業体系等に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	・教材 教科書、新食品成分表	ら、作業体系を実行することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の製造や保存に使われる各種機械の構造や機能に興味・関心を持ち、用途に応じて正しい機械の使い方を学ぶ態度を身に付けている。				
定期考査				○	○		合計
							50

都立農産 高等学校 2024(令和6)年度(2 学年用) 教科農業 科目 食品化学

單位數： 2 單位

(組 :) (組 :) (組 :)

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品化学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品化学に関する課題を発見し、農業や産業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品化学について食品の成分や栄養を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 食品化学の役割 【知識及び技能】 食品化学の役割について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食品化学の役割に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 食品化学の役割について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 食品化学の領域 2 食品化学と食品製造 3 食品化学とプロジェクト学習 ・教材：準教科書、プリント	【知識・技能】 食品化学の役割について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食品化学の役割に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品化学の役割について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第2章 水分 【知識及び技能】 水分について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 水分に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 水分について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 水分の性質と水素結合 2 食品中における水の働き 3 食品中の水の存在状態 ・教材：準教科書、食品成分表、スライド	【知識・技能】 水分について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 水分に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 水分について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第3章 有機化学の基礎 【知識及び技能】 有機化学の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化学の基礎に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 有機化学の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 化学結合と官能基 2 有機化合物の種類 3 有機化合物の特徴 ・教材：準教科書、プリント、スライド	【知識・技能】 有機化学の基礎について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 有機化学の基礎に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化学の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査（期末テスト）			○	○		1
2 学 期	第4章 タンパク質 【知識及び技能】 タンパク質について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 タンパク質に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 タンパク質について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 食品としてのタンパク質の利用 2 タンパク質の構造 3 タンパク質の性質 ・教材：準教科書、食品成分表、スライド	【知識・技能】 タンパク質について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 タンパク質に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 タンパク質について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査（中間テスト）			○	○		1
	第5章 脂質 【知識及び技能】 脂質について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 脂質に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 脂質について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 脂質とその利用 2 脂質の構造と分類 3 脂質の性質 ・教材：準教科書、食品成分表、スライド	【知識・技能】 脂質について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 脂質に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 脂質について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査（期末テスト）			○	○		1
3 学 期	第6章 炭水化物 【知識及び技能】 脂質について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 脂質に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 脂質について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 1 炭水化物とは 2 炭水化物とその利用 3 炭水化物の構造と特徴 4 炭水化物の性質 ・教材：準教科書、食品成分表、スライド	【知識・技能】 炭水化物について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 炭水化物に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 炭水化物について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査（期末テスト）			○	○		1
							合計
							58

年間授業計画 様式例

都立農産 高等学校 2024年度(2学年) 教科農業

科目 食品微生物

教科：農業

科目：食品微生物

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 3 組～ 4 組

教科担当者：（3 組：中島未香、工藤大志）（4 組：中島未香、工藤大志）

使用教科書：9 条本 食品微生物 実教出版

教科 農業

の目標：

【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】食品に関する基礎・基本を身に付け、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食品微生物

の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品微生物について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品微生物に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 人間生活と微生物 微生物の基本的知識の習得を目的に、微生物研究の歴史、微生物の一般的性質、微生物利用の分野について理解する。	1 微生物を学ぶにあたって 1) 生命の誕生と生物の進化 2) 微生物とは 3) 微生物研究の歴史と発展 2 生活環境と微生物 1) 微生物と物質循環 2) 微生物と農業 3) 微生物と工業 4) 微生物と環境浄化	【知識・技能】人間生活と微生物について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】人間生活と微生物に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】人間生活と微生物のついて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	発酵食品の製造、食中毒や感染症、食品製造の衛生管理などの身近な食生活と微生物の関りについて知識を深める。	3 食品と微生物 1) 発酵と腐敗 2) 発酵食品の製造 3) 食中毒 4) 経口感染症 5) 食品衛生 4 食品微生物とプロジェクト学習 1) プロジェクト学習とは 2) プロジェクト学習の進め方 3) 食品微生物におけるプロジェクト学習	【知識・技能】食品微生物について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】食品微生物に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】食品微生物のついて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
2 学期	第2章 微生物の種類と特徴(1) 「かび」・「酵母」・「細菌」について、それぞれの形態や特徴を理解するとともに、食品製造において、微生物を適切に利用、管理するための知識を習得する。	1 微生物の種類 1) かび 2) 細菌 3) 酵母 4) ウイルス	【知識・技能】微生物の種類について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】微生物の種類に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】微生物の種類について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	第2章 微生物の種類と特徴(2) 微生物の種類と有用微生物について理解し、増殖に必要な栄養や環境条件について理解を深める。	2 微生物の生育環境 1) 微生物の栄養 2) 微生物の生育と環境要因 3) 微生物の増殖 3 微生物の遺伝 1) DNAの複製 2) 突然変異 3) 遺伝情報の発現	【知識・技能】微生物の種類と特徴について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】微生物の種類と特徴に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】微生物の種類と特徴について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
3 学期	第3章 微生物の代謝と酵素 糖の代謝、エネルギー獲得などの微生物の代謝の基本的知識を理解し、発酵について理解する。	1 微生物の代謝とその利用 1) 微生物の代謝 2) アルコール発酵 3) 有機酸発酵 4) アミノ酸発酵	【知識・技能】微生物の代謝と酵素について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】微生物の代謝と酵素に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】微生物の代謝と酵素について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1

合計
53